

救命救急センターにおける外傷および内因性重症出血症例における thromboelastography (TEG)の臨床的有用性についての研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2026年4月2日 ~ 2030年3月31日

〔研究課題〕

救命救急センターにおける外傷および内因性重症出血症例における thromboelastography (TEG)の臨床的有用性についての研究

〔研究目的〕

大量に出血する病態では、続発する凝固障害の早期発見・早期治療が重要です。新たな血液検査方法である thromboelastography (TEG)は、従来の血液検査よりも迅速に凝固障害を発見することが可能との複数の報告が海外から出されています。一方、本邦からの報告は非常に少なく、重症症例を多数治療する当機関での臨床データを集積、解析することを目的としています。

〔研究意義〕

研究結果を各種国内外の学会や学会誌へ発表し、TEGに関する知識の共有、蓄積目的に使用します。これにより、わが国における救急診療の質の向上につながると考えています。

〔対象・研究方法〕

救命救急センター入院された方のうち、外傷症例およびその他の出血が疑われる症例

身体所見、検査所見、血液検査(TEG 検査を含む)、画像検査、診断名、重症度、治療経過/入院後経過、予後などを記録し、統計的に検討します。通常の採血検体の一部を用いるため、新たな負担は生じません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部救急医学講座

〔個人情報の取り扱い〕

患者さんのデータは帝京大学医学部救急医学講座で厳重に保管・管理します。発表に当たっては匿名化を徹底し、個人情報が漏洩することはありません。

〔その他〕 対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 千葉 裕仁(講師)
研究分担者:氏名 角山 泰一朗(病院教授)、氏名 高野 かおり(講師)
所属: 帝京大学医学部救急医学講座
住所: TEL:03(3964)1211 (代表)